



特別展・けいはんな万博 2025 関連事業

発掘された 日本列島 2025

Exhibition of Excavations in the Japanese Archipelago



地域展

天平の風、 山背に薫る

2025. 9. 6 (土) — 10. 5 (日)

【開館時間】午前9時～午後4時30分 【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）

【入館料】一般（65歳未満）280円 一般（65歳以上）140円 小・中学生 70円

※20名以上の場合は団体割引料金があります

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者、小中学校等の学校教育活動の場合は無料

※きょうと子育て応援パスポートの利用で保護者2名まで無料

ふるさとミュージアム山城
（京都府立山城郷土資料館）

主催：文化庁、京都府立山城郷土資料館、京都新聞、全国新聞社事業協議会
協力：全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社
後援：全国史跡整備市町村協議会

左上から時計回りに、弥生土器（葛籠尾崎湖底遺跡）、横型環状瓶（曾我墓所遺跡）、
男子埴輪（陵東遺跡）、銅矛・銅剣（顕孝寺遺跡）、家形埴輪・冢形埴輪（上官塚遺跡）、極印鑽（御土居跡）



京都府内では実に22年ぶりの開催となる今年度の「発掘された日本列島」展では、近年に全国で実施された発掘調査の中から、注目の遺跡の出土品を展示する「新発見考古速報」、特集展示として「埴輪列の世界」をお送りします。さらに、「わがまちが誇る遺跡」展示として、「洞窟王国 佐世保」、「琵琶湖の水中遺跡」、「東国千年の都 古墳から古代へ」の3つのテーマで各地の特色ある遺跡群を紹介します。

同時開催の地域展では、「天平の風、山背に薫る」と題して、奈良時代の南山城地域にスポットをあてた展示を行います。平城京のすぐ北側に位置する山背国には、奈良時代の生産・信仰・文化などにかかわる重要な遺跡が数多く存在しています。聖武天皇により3年余り都が置かれた史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）、万葉集に載る和歌が記された木簡が出土した史跡神雄寺跡、橘氏の氏寺である井手寺の塔の基壇が見つかった栢ノ木遺跡など、近年の調査で顕著な成果があった遺跡を中心として、希少な資料を展示します。

全国各地から集められた選りすぐりの出土品と、南山城地域の珠玉の出土品を同時に鑑賞できるのは会期中の約1か月間のみ。またとない貴重な機会を逃さぬよう、この秋は山城郷土資料館へぜひお越しください。



①歌木簡（史跡神雄寺跡、重要文化財）、②軒丸瓦（史跡奈良山瓦窯跡）、③奈良三彩火舎（史跡神雄寺跡、重要文化財）
④風招（史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡））、⑤軒平瓦（栢ノ木遺跡）、⑥施軸垂木先瓦（栢ノ木遺跡）、⑦奈良三彩小壺（栢ノ木遺跡）

関連イベント

【文化財講演会① & 展示解説】

9月6日（土）午後1時30分～

「発掘された日本列島 2025」展の見どころ

桑波田武志 氏（文化庁文化財第二課埋蔵文化財部門文化財調査官）

【学芸員による展示解説】

9月13日（土）、9月20日（土）、10月4日（土） 各日、午後2時00分～

9月27日（土） 午前10時00分～

【文化財講演会②】

9月27日（土）午後1時30分～

「恭仁宮と南山城の古代寺院」

上原真人 氏（辰馬考古資料館長・京都大学名誉教授）

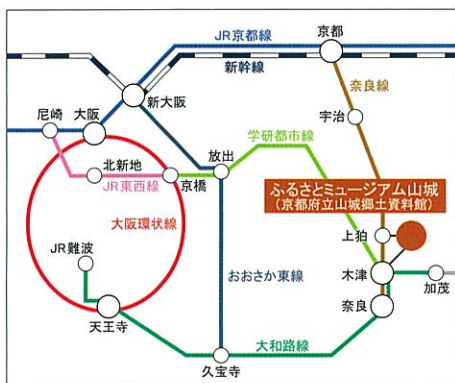
講演会①・②は当館整理室、展示解説は展示室でおこないます。

講演会の定員は、各回65名です（当日先着順、午後0時30分から整理券配布）。

講演会①終了後、講師による展示解説をおこないます。

いずれのイベントも参加費は無料ですが、展示室への入場には観覧券が必要です。

アクセス



□電車でのアクセス

▶JR奈良線「上粕」駅から徒歩20分

▶JR大和路線・奈良線・学研都市線「木津」駅からタクシーで5分

[京都駅からお越しの場合]

奈良線「みやこ路快速」で木津駅まで約37分

奈良線普通で上粕駅まで約59分

[大阪駅からお越しの場合]

大阪環状線・大和路線「大和路快速」で木津駅まで約60分

木津駅から奈良線普通で上粕駅まで約3分

□自動車でのアクセス

▶国道24号/国道163号「上粕四丁町」交差点を東へ約1.5km

▶無料駐車場あり

ふるさとミュージアム山城
（京都府立山城郷土資料館）

〒619-0204 京都府木津川市山城町上粕千両岩

TEL 0774-86-5199 FAX 0774-86-5589

E-mail yamasiro-s-soumu@pref.kyoto.lg.jp



official HP



Instagram